

天ジャンの遊び方

「天ジャン」はキャラクターの描かれたカードを入れ替えながら、得点表に書かれている「役」のキャラを集め、「上がり手」を作るゲームです。

セット内容

- 遊び方説明書 1枚 (この用紙)
- キャラカード 108枚 (18種類×6枚ずつ)
- 押しカード 17枚 (17種類×1枚ずつ)
- 点数カード 80枚
(10点×40枚、50点×24枚、100点×16枚)
- 得点表 4枚

〈キャラカードの種類〉

おともだち 17種類、かぼっち 1種類

	やまねくん (山根学区)		くりっち (相生学区)
	さかくん (表山学区)		はちまーちゃん (植田南学区)
	にんじん君 (植田学区)		うしっち (平針学区)
	マガっち (植田北学区)		パプリッチ (原学区)
	かぼこちゃん (大坪学区)		にんじんくん (高坂学区)
	みなみちゃん (平針南学区)		やごにんじゃー (植田東学区)
	なすびちゃん (野並学区)		にんじんぼっち (しまだ学区)
	てんびく 天白たまっち (天白学区)		にんじんくん (八事東学区)
	かぼにゃん (平針北学区)		かぼっち

天白区のマスコットキャラクター 「かぼっち」と「おともだち」って誰？

かぼちは天白区の特産野菜である「くりあじかぼちや」と「八事五寸にんじん」をモチーフにしたキャラクターで、明るく、元気いっぱい、好奇心旺盛な性格です。



「かぼっち」の「おともだち」は天白区全17学区に一人ずついます。みんな仲良しなキャラクター達です。

ゲームを始める前の準備

① かぼっちキャラカードを入れる数を決める

かぼちは、どのおともだちの代わりとしても使用できる、「おたすけカード」です。数が多いほど上がり手が作りやすくなります。まずは3枚入れて始めるのがおすすめです。なかなか上がれない時は、数を増やしてみてください。

② 点数カードを配る

全員に10点カードを10枚、50点カードを6枚、100点カードを4枚、合計800点を配ります。

③ 順番を決める

じゃんけんをして、勝った人が「親」となります。他の人は「子」となります。親は1ゲーム毎に時計回りで交代します。

④ キャラカードを配る

キャラカード(以降の説明では「カード」といいます)を裏向きにしてよく混ぜてから、8枚ずつ参加者に配ります。(この8枚を「手札」といいます)

配った残りのカードは裏向きのまま机の中央に置きます。(この中央のカードを「山」といいます)

⑤ カードの確認

手札を見てキャラの確認をします。得点表を見ながら、どのキャラを集めると「上がり手」が完成するかを考え、ゲームを始めます。

ゲームの進め方

① 「上がり手」のカードを集める

山からカードを1枚とり、手札を1枚捨てます。捨てるカードは得点表と手札を確認しながら、目指す上がり手に必要のないカードを選びます。カードは、キャラが見えるように表を向けて、左側から順番に捨てます。(山からとったカードをそのまま捨てることも可能です)

前の順番の人がカードを捨て終わったら、次の人も同じ手順を繰り返して上がり手に必要なカードを集めます。

順番は親からスタートして、時計回りの順番に進めます。

② リーチ

あと1枚で「上がり手」が完成することを「リーチ」といいます。「リーチ」になったら、カードを捨てる時にカードを横向きに置いて、「リーチ」と宣言します。リーチした後は山から取ったカードしか捨てることができません。上がる前は必ずリーチを宣言しなくてははいけません。

③ 上がり方

上がり方は2種類あります。

[1] 山からとったカードで上がる

「上がり」を宣言して手札を見せます。

[2] 他の人が捨てたカードで上がる

他の人がカードを捨てた時に、捨てたカードで上がりを作れる場合、順番に関係なく「上がり」を宣言し、捨てたカードを手札に加え、上がり手を見せます。

*同時に2人以上「上がり」と宣言した場合、じゃんけんをして、勝った人が上がりとなります。

④ 得点の支払い

上がり方によって点数カードの支払い方が

変わります。

[1] 山からとったカードで上がった場合

上がっていない残りの参加者全員で上がり手の得点を均等に割って、点数カードを払います。(割り切れない場合はじゃんけんが多く払う人を決めます)

[2] 他の人が捨てたカードで上がった場合

カードを捨てた人だけが上がり手の得点分の点数カードを払います。

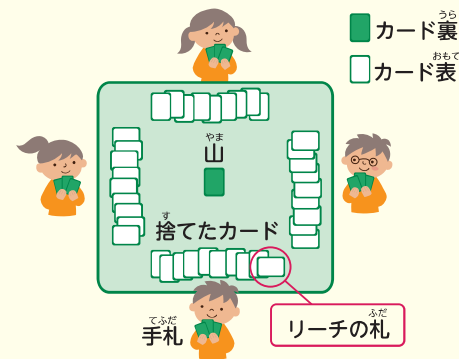
⑤ 次のゲームを始める

誰かが上がり手を作った、または誰も上がり手を作れず山がなくなった時点で1ゲーム終了です。キャラカードを配り直し、次のゲームを始めてください。

⑥ ゲームの終了

親が2周回るか、誰かの点数カードが全て無くなった時点で、ゲーム終了です。最後に持っている点数カードを計算して、一番点数の大きい人が勝ちです。

ゲームイメージ



追加ルール (ゲームに慣れたら遊んでみてね)

「押し宣言」

点数カードを配る前に、自分が「押し」おともだちを決め、そのキャラクターが描かれた「押しカード」を、他の人に見える位置に置き、押しを宣言します。

押しのキャラクターをセットに入れてあげれば、その上がり手の得点に加えて、60点が追加でもらえます。